

## フィールド2 環境調和

### ～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

#### ◎地球環境の保全

(単) **太陽光発電推進事業 (環境部 環境保全課)**

**43,200千円** (64,800千円)

**1 事業目的**

地球温暖化防止及び環境保全意識の高揚を図り、住宅用太陽光発電システムの普及を拡大するため、太陽光発電システムの設置に対し補助を行う。

**2 事業年度**

平成25年度

**3 24年度の事業内容**

国（J—P E C）の補助を受けた住宅用太陽光発電システム設置者に、太陽電池モジュールの最大出力に3万円を乗じた金額（上限12万円）を補助する。

補助金 43,200千円

**4 財源内訳**

(1) 県 1/3 14,400千円

(2) 一財 28,800千円

#### ◎生活環境の保全

(単) **衛生センター施設整備事業 (環境部 環境施設課) (拡充)**

**124,564千円** (37,810千円)

**1 事業目的**

施設建設後23年が経過し、建物、機械設備の老朽化が著しいため、安定的な施設維持及び延命化を図る。

**2 事業概要**

建物については予防保全工事として、屋上・外壁等の改修工事を行う。

機械設備については、定期点検整備工事を行い安定的な維持管理を行うとともに、基幹的な設備を含め、計画的な改修を行う。

**3 事業年度**

平成25年度

**4 25年度の事業内容**

(1) 工事費 124,564千円

処理棟外壁改修工事 39,468千円

処理棟屋上防水工事 37,286千円

定期点検整備工事 37,810千円

電気計装設備改修 10,000千円

**5 財源内訳**

(1) 繰入金 76,754千円 (公共施設整備基金)

(2) 一財 47,810千円

## ◎ごみ減量の推進

(施) **清掃センター廃棄物処理委託費 (環境部 環境施設課)** **329,230千円** (287,572千円)

### 1 事業目的

清掃センターより排出される焼却灰を適切に最終処分する。

また、清掃センターに保管している高濃度PCB廃棄物を日本環境安全事業株式会社北九州事業所において処理する。

### 2 事業年度

平成25年度

### 3 25年度の事業内容

・主灰処理	4,200t	180,521千円
・飛灰処理	850t	104,066千円
・PCB廃棄物処理		44,643千円

(施) **ごみ減量化推進費 (環境部 ごみ減量課)** (拡充) **4,062千円** (1,982千円)

### 1 事業目的

ごみの発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)によるごみの減量を図り、再資源化(リサイクル)を推進するため、生ごみや使用済み天ぷら油、衣類等の資源化、レジ袋削減等、市民、事業者による取り組みを支援する。

### 2 事業年度

平成25年度

### 3 事業の概要

#### (1) 生ごみたい肥化に対する支援

- ・生ごみ処理容器購入補助、生ごみ減量講習を実施する。
- ・地域で生ごみのたい肥化を実践し、たい肥を地域の環境整備に活用する。たい肥化は、地元の竹パウダーを用いた段ボールコンポストを利用すし、事業完了後は、事例発表を含めた生ごみ減量講演会を開催する。

#### (2) レジ袋に対する支援

マイバックキャンペーン等で配布するアメニティグッズ、チラシを作成する。

#### (3) 使用済み天ぷら油、衣類については、有価物として売却し、天ぷら油はバイオディーゼル燃料へ、衣類は、布類のリサイクル品、もしくはリユース衣料として再資源化する。

### 4 25年度の事業内容

・生ごみたい肥化に対する支援	3,760千円
電気式生ごみ処理機等補助	1,160千円
生ごみたい肥地域環境整備モデル事業	2,000千円
生ごみ減量講習等	600千円
・レジ袋削減に対する支援	302千円

### 5 財源内訳

(1) 繰入金	2,902千円	(環境保全基金)
(2) 一財	1,160千円	

## ◎下水道施設の整備

(施) **公共下水道事業特別会計繰出金 (環境部 下水道管理課)**

**134,048千円** (98,800千円)

※以下特別会計ベースの事業費

◆**管渠等建設事業費 736,000千円** (654,000千円) (下水道建設課)

### 1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け、下水道の整備を促進することにより、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図ると共に、浸水被害の解消を図る。

### 2 事業年度

平成23年度～平成29年度

### 3 25年度の事業内容

(1) 工事費 652,000千円

・汚水幹線 A=12.56ha L=2,086m (310,000千円)

・汚水促進 A=5.02ha L= 916m ( 50,000千円)

下郷汚染幹線、滝の宮汚水枝線他

平成25年度末普及率目標 59.7%

・雨水幹線 A= 7.65ha L=1,002m (290,000千円)

・雨水促進 A= 0.01ha L= 10m ( 2,000千円)

江の口1号・2号雨水幹線、上泉雨水幹線他

(2) 委託料 (実施設計委託) 60,000千円

(3) 事務費 24,000千円

### 4 財源内訳

(1) 国 50% 356,000千円

(2) 市債 90% 342,000千円 [交付税算入率37%]

(3) 受益者負担金 35,300千円

(4) 一財 2,700千円

◆**単独下水道事業費 885,948千円** (865,000千円) (下水道建設課)

### 1 事業目的

雨水の排除と汚水の処理により、生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図ると共に、浸水被害の解消を図るため雨水・汚水の面整備を行う。

### 2 事業年度

平成23年度～平成29年度

### 3 25年度の事業内容

(1) 工事費 559,200千円

・汚水整備 A=22.39ha L=5,798m (434,200千円)

・雨水整備 A= 2.18ha L= 588m (107,000千円)

・汚水柵 (区域外) 及び付帯施設整備等 ( 18,000千円)

平成25年度末普及率目標 59.7%

(2) 補償費 (新居浜市上水道移設等) 150,000千円

(3) 用地費 (雨水ポンプ場用地A=640㎡) 20,000千円

(4) 委託料 (実施設計委託、現場技術業務委託) 110,000千円

(5) 事務費 46,748千円

4 財源内訳

- (1) 市債 95% 805,200 千円※市債対象事業費 847,643 千円 [交付税算入率 37%]  
 (2) 一財 80,748 千円

◆管渠等改築事業 20,000千円 (29,000千円) (下水道建設課)

1 事業目的

重要な幹線等のうち、処理場に直結する川西污水幹線の耐震化を図るため、調査設計を実施する。

また、老朽化する管渠施設等を計画的に改築更新できるように、施設のデータベース化を実施する。

2 事業年度

平成23年度～平成29年度

3 25年度の事業内容

- (1) 委託料 20,000千円  
     耐震化調査設計 L=200m (10,000千円)  
     データベース構築 L=15km (10,000千円)

4 財源内訳

- (1) 国 50% 10,000千円  
 (2) 市債 90% 4,500千円※市債対象事業費 5,000千円 [交付税算入率 37%]  
 (3) 一財 5,500千円

◆終末処理場改築事業 366,500千円 (315,500千円) (下水道管理課 下水処理場)

1 事業目的

下水処理場は、昭和55年の供用開始後34年目を迎え、当初からの運転で老朽化し耐用年数を超えた施設の機能回復を図るため、これらの現有設備を計画的に改築更新する。平成25年度は、昨年度に着手した水処理監視制御設備に引き続き、新たに平成25、26年度の2か年の継続事業として高圧受変電設備の改築工事を実施する。

2 事業年度

平成24年度～平成29年度

3 25年度の事業内容

- (1) 委託料 (下水道事業団委託) 363,000千円  
     ・水処理監視制御設備 (138,000千円)  
         電気設備工事 [H24～25年度継続事業]  
     ・高圧受変電設備 (215,000千円)  
         電気設備工事 [H25～26年度継続事業]  
     ・改築実施設計 (10,000千円)  
         水処理計装設備  
 (2) 事務費 3,500千円

4 財源内訳

- (1) 国 50%、55% 194,900千円  
 (2) 市債 90% 154,300千円 [交付税算入率 37%]  
 (3) 一財 17,300千円

## フィールド2 環境調和

～地域に優しい、地球にやさしい暮らしの実現～

---

### (単) 一般下水路整備事業 (環境部 下水道建設課)

90,000千円 (110,000千円)

#### 1 事業目的

安全で快適な生活環境の創出に向け、排水路の整備を促進することにより、生活環境の改善及び水質保全を図るとともに浸水被害の解消を図る。

#### 2 事業年度

平成25年度

#### 3 25年度の事業内容

##### (1) 工事請負費

船木排水路改良工事外 4件 L=320 m 58,000千円

##### (2) 委託料

山田町排水路設計業務委託外 3,000千円

清掃等委託料 8,000千円

##### (3) 用地費

船木排水路改良工事 (A=182 m<sup>2</sup>) 5,000千円

##### (4) 補償費

4,000千円

##### (5) 施設修繕料 水路、マンホール等の修繕

9,000千円

##### (6) 事務費

3,000千円

## ◎安心で安全な水道事業の推進

(単) **別子山地区飲料水供給施設整備事業 (経済部 別子山支所) (新市建設計画)**

**280,230千円** (135,700千円)

1 事業目的

別子山地域では、豊かな渓流水を飲料水として利用してきたが、大雨や台風時の増水、冬期の凍結、渇水等による断水や水の濁りにより、常に飲料水の確保に苦慮してきたところである。これまでも飲料水の安定供給を図るため、施設整備等に努めてきたが、根本的な解決には至っていない状況にある。

また、近年、水の安全性に対する認識の高まりとともに、地域の著しい高齢化に対応するため、給水施設の拡充整備を実施し、安全・安心・安定した飲料水の供給を図る。

2 全体計画

事業年度 平成21年度～平成25年度

3 25年度の事業内容

(1) 工事請負費 280,230千円  
一式 (弟地、保土野給水施設等)

4 財源内訳

(1) 市債 100% 280,200千円 (過疎債) [交付税算入率 70%]  
(2) 別子山振興基金 30千円

(施) **別子山水道給水事業費 (経済部 別子山支所) (新規) (新市建設計画)**

**3,684千円**

1 事業目的

別子山地域内において整備が進められてきた飲料水施設の内、3給水施設 (成給水施設、瓜生野給水施設、小美野・肉淵給水施設) が完成したことから、水道施設の利用者に安全な飲料水を安定して供給できるよう、適切な維持管理を図る。

2 全体計画

事業年度 平成25年度～

3 25年度の事業内容

維持管理対象施設の適正な運用に必要な経費

- ・水道検査費用 467千円
- ・管理業務委託料 1,891千円
- ・施設用電気代 232千円
- ・滅菌用塩素剤購入費用等 1,094千円

4 財源内訳

(1) 水道利用料 831千円  
(2) 合併振興基金 2,853千円